

## 平成 28 年度

### 第 1 回 南伊豆町総合教育会議議事録

日 時	平成 28 年 5 月 25 日 (水)	13 時 25 分から 14 時 38 分
場 所	南伊豆町役場	3 階 会議室
出席者	町 長	梅 本 和 熙
	教 育 委 員 長	佐 藤 保 孝
	委員長職務代理者	白 井 善 吾
	教 育 長	小 澤 義 一
	委 員	井 手 伸 二
	委 員	萩 原 利 恵 子
説明出席者	事 務 局 長	大 野 孝 行
	学 校 教 育 係 長	白 井 秀 治
	社 会 教 育 係 長	小 嶋 淑 子

#### 1 開 会

大野事務局長 開会の挨拶を述べる。

事務局長 この後議事に入るが、要綱第 4 条に規定により議長は町長が務めることになっている旨説明し、町長に議事進行を依頼する。

#### 2・3 町長挨拶及び議事

梅本議長 挨拶を述べ、議事に入り、(1) 議事録署名人について、以前の会議で決定したとおり本人(梅本議長)と教育長で務める旨を述べる。  
続いて「平成 28 年度のスケジュールについて」事務局に説明を求める。

事務局長 資料に基づき平成 28 年度のスケジュールについて説明。  
・第 1 回目が本日(5/25)、第 2 回目を 12 月に予定。  
・6～11 月に町長に教育現場をより理解していただくための授業参観(町支援員の活動・特別支援学級)及び学校教諭との懇談を実施予定。

梅本議長 事務局から平成 28 年度のスケジュールについて説明がありました。  
御意見、御質問等があればお願いいたします。

《 質疑等特になし 》

梅本議長                    それでは、原案のとおり今年度は進めていきたいと思ひます。  
その他について、事務局からは何かありますか。

事務局長                    それでは、資料に添付してござひます、小中一貫教育について若干  
説明させていただきます、それを踏まえて、皆さんの意見をいただければ  
と思ひます。

梅本議長                    この辺だと、西伊豆町で小中一貫教育をやってひなかつた？

事務局長                    やってひないです。土肥でやろうかなという新聞記事が先日載って  
ひましたよね。

資料に基づき小中一貫教育について説明

・賀茂地区乳幼児・児童・生徒数表について説明。

南上小入学予定児の増加(6年後は現在の在校生数より12人の増)

・当町における小中一貫教育は、連携型小中一貫校がベスト

・県内における小中一貫校(4校：静岡市立井川小中学校・浜松市立  
引佐北部小中学校・浜松市立庄内学園・沼津市立静浦小中一貫学校)

・横浜市立小中一貫校 西金沢小中学校 釜利谷西小学校の事例を参考  
に、小中一貫教育の狙い・生徒と学校のメリット・生徒と学校のデ  
メリットについて説明。

梅本議長                    節目節目を考えた時に小学校から中学校になるという時の心の切り替  
えというか、そういうものが無くなってしまうのもデメリットかなとも  
思ふんですけど・・・

皆さんの御意見はどうですかね。

井手委員                    今は、割とこういうことがいろいろなところで行われているわけ  
ですけど、どこも試行錯誤していると思われまひます。

南伊豆町としてはどのやり方が最適なのかを見極める期間が必要なの  
では・・・

臼井委員                    先進地を参考にしながら進めていってはどうかね。

事務局長                    当町でのデメリットは、とにかく先生の数が少ないもので、やりくり

が大変だということです。それを解消するために連携型小中一貫校というのがとっかかりになるのではないかと考えています。そうすれば、先程町長が危惧していた節目の件についても中学に行けば制服も着るし、節目は出てくるのかなと思います。とにかく一番の目標は先生の行き来で効率的に授業運営ができることだと考えます。

白井係長 補足説明があります。中学校になると音楽とか美術とか英語とかの専門の先生がいます。たとえば、今後、英語が小学校で必須になった場合に、うちのような小さな小学校では英語が十分にできない先生が授業することも考えられます。もしかするとそこから英語の授業の格差が始まってしまうかもしれない。しかし連携校ということになると中学校の英語の先生が小学校に来れる。同じ美術をやるにしても専門性の高い美術の授業を受けられることで教育の質が高まることも期待できるとある方が言っていました。

梅本議長 というと、一貫校というのは先生が交流するという意味？

白井係長 交流というか辞令を出すんだと思います。

白井委員 教員の免許は問題ないの？

事務局長 小中両方の免許を持っていないとだめなのでは・・・

教育長 昨年度、静浦小学校へ行って来ました。まだ、義務教育学校の段階ではなかったので、免許の問題、まだ先生方が持っていない段階かな、今度の義務教育学校、これは確実に小中免許を持ってくれと、静浦の方は中学校免許の方は基本的に小学校免許がないと小学校の授業ができない。また、校長はどうするのか2人なのか1人なのか、教頭はどうするのかとか、そんな問題が出てくる。他にも転校生への対応、義務教育学校の場合、9年間で我々は6-3制でやっているが替えていいので4-3-2であるとか5-4とか・・・

佐藤委員 教科書はどうなっているの？

たとえば、4年生の間に5年生までやってしまうのかとか。また、その逆であるとか・・・

中学1年までに3年までの教科書を終わらせて、あとの2年は受験勉強にするとかそんなことができるのか・・・

とにかく、小中一貫校を研究してみる必要がある。

教育長 川根本町のように統合せずにその学校の特性を活かした教育を推進していく手法も出てきているし、当町のように統合を検討しているところもある。いろいろな選択肢が出てきているのも事実。

白井委員 でも、後々中学を1校にするとしたらまた話が変わってくるよね。

教育長 その道もあるわけですよ。

白井委員 一貫校をやるのであれば、中学を一つにする時に小学校も1校にしないといけないね。

梅本議長 本来、一貫教育というのは何なのかと考えた場合、例えば高校とか大学へエスカレーター方式で行ってしまう・・・あれが一貫教育だと、早く言えば教育方針がある程度決まって受験はほとんど入れないよと、デメリットよりもメリットがどれだけあるの、行政的な意味でのメリットなのか・・・先生が交流するからいい先生の授業が受けられますよというのか、非常に分かりにくいなど、今なぜ一貫教育ということを行わなければならないのか、高校と一貫教育をすれば受験戦争なんてものを無しにしますよということであればある程度わかりますよね。

まだまだこれは議論の余地があるでしょうし、子どもたちにとってそれが良いのかということ、それがしっかり説明できないとだめだと、私はそう思います。

一般の教育を受ける人たちが納得をしないと、それをいくら私たちが議論しても意味がないですよ。

佐藤委員 前年度に南上小学校の答申がなされて、今も南上の子供が増えているとの報告があった。あと10年以内にやるというのは無理。我々としては小中一貫校について勉強してこんないいところがあるんだよという説明ができるようにしておく。それから皆さんが「いいですね。」ということであれば進んでいく。

梅本議長 今、教育の部分で懸念しているのは広域連携。指導主事については広域連携で行くことで進んでいる。その先にあるのは教育委員会の広域連携。例えば、教育委員会が広域連携となった場合は町の学校の在り方も広域連携の中で決めてきそうな感もあります。その辺はちょっとどうなんだろうかという気はしますけどね。伊豆市は学校もコンパクトにまとめ始めている。賀茂地区の市町村合併が否決された中、合併したと同じようなかたちで教育の方向が流れていくことということがはたしてこれ

でいいの？という感じはします。そんなことも踏まえて、まだまだいろいろ議論をしないとこの地域の教育は非常に難しい部分が出てくると思います。

そういう面では教育長・事務局よろしく申し上げます。

それでは、次に移ります。先ほど事務局から話のあった「給食施設の一元化」について説明をお願いします。

事務局長

「給食施設に一元化」について説明（資料なし）

・南中小学校の給食室を改築し現在2校（中小・東小）で調理している給食を中小1校で調理するための設計書づくりの前段として設計士が給食調理員の意見を聞きながら設計書のベースを作成するもの。  
町内生徒児童数の減少、給食調理員の確保が困難等の事由により、少人数で効率的に作業できる現場を作るためのもの。

白井係長

補足説明

・給食は子どもの口に入るものであるため、安全面でもかなりセキュリティが高い。その分費用もかかる。現南中小の施設で町内小中学校の給食全てを調理できる。ただ、給食終了後は食器を熱風殺菌庫に保管している。その殺菌庫を置く場所が無い等の課題が有るので、そういう課題の解決策を検討してみようということ。

・給食は毎日違うため、給食調理員は設計書（誰がどう動くか等を詳細に決定しているもの）を作成している。現場が働きやすいものにするため意見聴取をするもの。

・正規職員数の問題。（給食調理員としての採用は長年なし。）

梅本議長

皆さんから、御意見があればお願いいたします。

白井委員

給食が冷たくなるようなことはない？

白井係長

今現在、南上小へ運んでいるということ。過去には東小から三浜小まで運んでいたという事実があります。実際、冷めますが、冷たいということはない。ぬるいということはありません。

梅本議長

一元化というのは、効率化の面も入っているわけ？

白井係長

全ての面における効率化だと思います。

梅本議長

それであれば、逆に全ての給食施設を活かして、例えば、高齢者宅配のものを作るとかいうのは難しいのか？

白井委員

いい考えだ。

梅本議長

そこに新たに臨時の職員を雇用するとか・・・またその運営は行政ではなく別団体というのも考えられる。

そういうことも含めて議論していただけるとありがたい。

職員の身分保障の件、行政とは別に会社を作るとか、社団をつくるとか組織は既存の組織でもいいんですよ。賀茂老人ホームであるとかでも・・・

白井委員

河津に新しくできた給食センターは、直営？委託？

白井係長

そこは調べてみます。

梅本議長

そういうところも含めて検討した方が私もいいと思う。

白井委員

学校給食だけでなく、一般の高齢者等への配食サービスもやれば・・・

井手委員

その場合の横の繋がりはどうなるんですか？

教育委員会だけの問題ではなくなりますが・・・

梅本議長

それは、やはり担当が福祉の担当と話をしながら・・・

行政に入ってみるとわかるんですが、例えば町の職員同士がうまく連携を取っても、国・県の職員はそういう用途に使用するのであれば補助金は出ませんよ みたいなことを言うてるんですよ。教育の場へ福祉の補助金を入れることは不可みたいなことを言われるかも知れない。

非常に難しい問題です。

その辺も含めて検討してもらえればありがたい。

佐藤委員

例えば、給食センターで作ってある程度の価格で売るということはできるの？

白井係長

そもそも複合施設で補助金がもらえるのかというところから調べなければなりませんね。

多角的に検討してみて、それでだめなら仕方ないですね。

佐藤委員

そんなことができればおもしろいですけどね。

それと、働く場所もないと困るわけですからね。あまり縮小縮小で行くということは働く場所を奪っているということでもありますからね。

町長もリーダーシップを発揮してやってください。お願いします。

白井委員 補助金をもらおうとそういう制約があるのであって、町の金でやるのであれば、どうってことはないわけ？

白井係長 建物を作るには問題ないと思いますが、ただ、学校給食なもので学校健康安全法とかの縛りの中で調理場はこうあるべきだみたいな指針があるので・・・

梅本議長 文科省の方ですね。出てくるんでしょうね。  
三浜小学校がいまだにあのままなのは、そういう縛りがあるからだよね。  
そこをクリアするまでが大変難しいですね。

白井係長 まだ、建設時の借金が返し終わっていないので、100%うちのものにもなっていないですよ。

梅本議長 では、給食施設の一元化についてはもっと多目的な利用方法ができないかを含めて検討してもらおうということで・・・  
お願いします。  
他には何かありますでしょうか。

《 特になし 》

梅本議長 それでは、議事は終了いたしましたので、あとは事務局の方で調査が終わりましたら報告してもらおうということで、今日は終了としたいと思います。  
それでは進行を事務局へお返しいたします。

事務局長 ありがとうございます。それでは、次回の会議日程についてです。  
先ほどのスケジュールに沿い12月に実施予定です。  
詳細は町長のスケジュールに合わせて定例の教育委員会を開催し、その時に合わせて開催することを考えております。  
それでは、以上をもちまして平成28年度第1回南伊豆町総合教育会議を閉会といたします。  
ありがとうございました。

記事録署名人 梅本和也

記事録署名人 小澤義一

記事録署名人 大野孝行